

自然や生物が好きな方
その知識や経験、
子どもたちに伝えてみませんか？

参加無料

定員に達し
次第受付終了

自然体験プログラム 実践講座 (指導者育成)

昨今、“原体験”として自然に触れる機会の少ない子どもや親世代が増えています。皆さんが自然や生物を好きになった原体験は何ですか？昨今の子どもたちには、きっとそんな原体験が必要です。本講座では、子どもたちが生き生きと楽しみながら学べる自然遊び・自然体験を学びます。様々なフィールドを舞台に環境学習を実践している方々を講師にお招きし、参加された皆さんがすぐにも自然体験（環境学習）を企画できる実践的な講座を全4回開催します。※1回のみ参加もOKです。

基礎編

8/23 (土)

自然体験の意義や、伝え方の工夫など、基本中の基本を学びます。

実践編①～③

9/13 (土)
12/13 (土), 1/24 (土)

実際のフィールドを舞台に、子どもが楽しめるプログラムのほか、安全管理などを学びます。

こんな方におすすめ！

学校で授業をしているけど、自分ももっと深く勉強してみたい！



自治会で子どもたちに自然遊びを教えたいけど、何をしよう？

既に環境学習を実践しているが、ネットワークを広げたい！



◀ 申込方法 ▶

右記の二次元コードから必要事項を入力してお申込みください。

◀ 主催・問い合わせ先 ▶

滋賀県環境政策課 企画・環境学習係



077-528-3453



biwako-es@pref.shiga.lg.jp



8/5 (火)
※切 (先着順)

講座日程 (全4回)

基礎編

8/23 (土)

会場 淡海環境プラザ

時間 10:00~16:30

定員 50名程度

- 内容
- ①自然体験と環境教育の意義
 - ②体験的に学ぶということ
 - ③インタープリテーション（教育的なコミュニケーション手法）について
 - ④素材の扱い方・伝え方（実習）
 - ⑤インタープリテーションを生かした自然体験プログラム実習 など



講師 環境教育事務所 Linoworks

仲上 美和 氏

環境教育とインタープリテーションを専門に、全国各地の自然と文化を生かした環境教育および着地型観光のプログラム企画開発、人材育成等に携わる。東京都にある環境教育専門団体での活動を経て、2013年、兵庫県にUターンし個人事務所を開業。インタープリター養成に加え、学校、公園、里山、田んぼなど、主に身近な自然空間にて自然体験の場づくりを行なっている。

実践編①

9/13 (土)

会場 坂本支所 / 大宮川

時間 10:00~16:30

定員 30名程度

- 内容
- ①湖・川をフィールドとした安全管理に関する実習
 - ②水生生物調査に関する方法と実践
 - ③水質指標生物を用いた水質判定の実践
 - ④水質簡易測定「パックテスト」の実践
 - ⑤水生生物調査と水質調査の結果の比較、考察 など



講師 環境省環境カウンセラー
(市民部門・事業者部門)

川島 大助 氏

技術士（建設部門 建設環境）。民間企業に勤務し、環境コンサルタント業務（河川やダム湖等の水生生物調査・解析・検討）を行う。またNPO等の環境保全団体に複数所属し、様々な立場で、行政、企業、市民、学校関係への環境学習の企画・運営、環境教育を行う。環境啓発教材（図鑑、冊子、ポスター、動画等）の制作にも携わる。

実践編②

12/13 (土)

会場 河辺いきものの森

時間 10:00~16:30

定員 30名程度

- 内容
- ①河辺いきものの森の里山保全活動の意義と遊林会の方針について
 - ②子どもたちの活動と連動したフィールドの管理方法と団体活動の紹介
 - ③フィールドワーク(プログラムの狙いと組み立て方、子どもたちとの向き合い方と声掛けのコツ)
 - ④刃物などの道具を子どもたちが安全に使うための指導法について



講師 遊林会 代表理事

井田 三良 氏

自然に興味があり子ども対象の自然観察会などに関わったことがきっかけで企業を退職し、小学校の教諭をめざす。小学校教諭を退職後、遊林会の代表理事に就任。会の運営に携わりながら、子どもたちの環境学習の指導にも関わっている。現在は希望ヶ丘で実施されている希望ヶ丘夏休み自然塾の塾長、ダイニックアストロパーク天究館の観望会の運営に携わる天究館友の会の代表、ヤンマーミュージアムのピオトープのアドバイザー、滋賀の理科教材研究委員会のメンバーなど、滋賀県内での自然体験事業の講師やアドバイザーとして幅広く活動している。

実践編③

1/24 (土)

会場 湖北野鳥センター

時間 10:00~16:30

定員 30名程度

- 内容
- ①野鳥観察の指導法について
 - ②自然体験としての野鳥観察会の工夫について
 - ③湖・平地をフィールドとしたプログラム体験
 - ④魅せる展示の工夫について



講師 湖北野鳥センター 所長

植田 潤 氏

小学生から野鳥観察にのめり込み、ライフワークは45年となっている。中学校の教員を経て、15年前より湖北野鳥センターに勤務、野鳥観察を通して琵琶湖の自然や生態系について解説している。現在は野鳥のみならず滋賀県内の生物全般を観察対象にしており、特に農地や人里の生き物についてその貴重性を訴えている。

過去に参加された
受講生の声

- 大変有意義で、今後の活動の参考になる講座をありがとうございました。
- 自らの活動を見直したり、今後導入したいと思える内容が学べました。
- 特に、安全管理に関する内容を学べたことが良かったです。
- ほかの団体の方々と話す機会となり、大変有意義でした。